

季節の窓

秋という季節は、ふと気がつくとそのこにいたというような感じでやってくる。暑さにかまけているうちに夜、部屋に吹きこんでくる風の冷たさや、澄んだ空の色でその訪れを知ります。さわやかな秋、夏の間にだらけた肉体や神経をピリッとさせてくれます。



(写真 タロ上げを楽しむこどもたち)

五城目五報

発行所 秋田県五城目町役場 編集 総務課
印刷所 五城目印刷所 501番〜505番 電話 571番 (一部五円)

人口	20,339人
男	9,967人
女	10,372人
世帯数	3,817
総面積	214.41平方キロメートル
田	1,743ヘクタール
畑	289ヘクタール
山林	16,588ヘクタール

臨時町議会

最適切は山の手とアーク

委員会報告を了承

統合小建設

本町八月臨時議会は十日午前十一時から役場で開かれ、一般会計補正予算案、統合小建設調査報告書審議し、予算案は原案とおくり可決、統合小建設報告は了承されました。

統合小建設については去る五月十一日の臨時町議会にて「統合小建設調査特別委員会(委員十四人)と協議」にて付託し、委員会は七回にわたって審議した結果と結果を二本委員長から報告され、これについて活発な質疑応答を行なったあと採決演説一致で報告を了承しました。

候補地四か所調査

統合小建設調査特別委員会では調査の対象として、

- ①町財政との関連性
- ②通学距離と道路
- ③田圃の環境
- ④教育環境

の四点におき、前の「統合小建設調査特別委員会」の審議経過を参考にするため意見をきき特別委員会では独自の立場で、町道山手線合地及び田圃、新田川界の合界アーク土付近、五小小現地の四か所を調査しました。その結論として、

- ①町道山手線合地及び田圃は最も適当
- ②新田川土付近は最も適当
- ③五小小現地はおおむね適当
- ④宿館公園前田圃はやや適当



(写真 親杉のあつたあたりを(迂)回する新設道路)

立木の処分

八月二十日午前十時から役場で臨時町議会を開かれ、立木処分について審議し満場一致可決しました。

処分する立木は馬場目保呂畑沢のふもとの杉三千二百六十六、石の数は八百三十九、二百六十六メートル(約千九百九十五)を素材にして売却するものです。

農地報償金を支給

法律のあらまし

①農地改革で農地は、以上買収された者、またはその遺族、一般承継人、法人の場合は、一定の資格要件が要求される。②対して記名国債で交付金を支給する。

③この交付金の額は、買収された農地の面積に反し、買収費より算出した額(その額が百万元以上の場合には百万円)とする。④この場合、

①の畑の買収面積は裏面積の六割に換算する。

の町で、町ではこれを根拠にして速急実現するようおし進められています。なお、補正予算は秋田・森吉線(川内地区)五章目、八郎湯編改良工事の負担金で二十九万六千円で、

八月二十日午前十時から役場で臨時町議会を開かれ、立木処分について審議し満場一致可決しました。

ご厚意に感謝します

①叔町、鍋谷方面からのおかあさんの死去による香典として、五城目小・中学校、同幼稚園、五城目養老院に三万六千円を寄付くださいました。

②新町、加藤千重さんからおとろぎさんの死去による香典として、十万円を、町の身体障害者事業に社会福祉に使ってくださいました。

③果ては面開形杉発電所から養老院へ衣類の寄贈があり、お年寄りたちは感謝しています。

④養老院では両西連盟から北馬三郎シローの招待券を五城目自愛愛好クラブから素人の日暮大谷の招待券をそれぞれいただきました。

道路開発すすむ

森山のマイクロニュー建設は、ことしの春から中田建設の手で行なわれており、9月1日ついで竣工の予定です。道路竣工とともに市街の建設は完成の予定です。なお、道路は町山の入口から頂上まで約3.5メートル、長さ約3キロメートルのりっぱなものです。

(写真) 親杉のあつたあたりを(迂)回する新設道路

①一畝以上一反までの人の給付金の額は第一万円とする

②前記の記名金は、十年度無利息(一万円単位)は五年度無利息(千円単位)として流通を禁止するほか原則として流通を禁止する

③給付金を受けとりとする者は、四十二年の九月三十一日までの所定の請求書所定の証拠書類を添えて、所在地の市町村長に提出する。市町村長はこれを買収を受けた者の本籍地を知り、進達する。知事の認定があつた場合は、最寄りの財務局から買収交付金書が交付される。請求者はこれをもち、日銀の支店代理店から国債を受領する。この国債は毎年八月十五日に最寄りの郵便局から償還金を領する。

お知らせ

下樋口踏切道
奥羽本線貫谷地踏切道(大川農協前)から下樋口踏切の立体交差工事のため、次の期間中通行が禁止されます。

昭和四十年九月十六日から昭和四十年九月三十日まで、なお使用は十月一日からです

▼内川 九月十日午後一時より
▼内川 九月十一日午後一時より



(写真 賑入れをする松崎副知事)

敬老会

▼五城目 九月十八日午後二時

本年度の敬老者慰霊祭は次の日程で行ないます。

- ▼五城目地区 九月五日(府祭祭同日)
- ▼六日(六祭) 神明社で。
- ▼馬場目地区 九月八日午後一時 馬場目神明社で。
- ▼宮津内地区 九月九日午後一時 待月院で。
- ▼内川地区 九月十一日 午後一時 内川小学校忠魂碑前で。
- ▼大川地区 九月十二日午後二時 大福寺で。

話題

ぶどうのたね

秋の味覚の大将は、なと突入りです。産地の人たちはあつたぶどうをたねにやあぶどうのたねがなければ、まさに玉座だといわれる。ぶどうのたね、なるものには気にならぬものですが、

たねを出しなから食べている人を見て、ぶどう産地の山梨県あつたの出身者は「ぶどうのたねをたねに似た真実(ふんぎ)がうたえるそうですが、それがよく、

▼馬場目 九月十五日午後一時より
▼内川 九月二十日午後一時より
▼馬場目 九月二十日午後一時より
▼内川 九月二十日午後一時より

杉沢発電所起行

杉沢発電所の起工式は七月三十日午後、松崎副知事、小林町長、工事関係者出席して五城目役場で行なわれました。この場所は杉沢ダムの水を運ぶための、最大出力五万五千キロワット、銀煙管に、奥内二番目の大きなもの、

建設場所は地上二階、地下二階の建物で総工費億八千万円、明年一月末に完成予定です。

「題字」を替えました

いまでも使用の題字は替えずでしたが、今号から替えました。文字は内藤雄先生の手によるもので、写真見石写真館提供のもので、

森山登山の禁止

森二高地頂上整地工事の破壊作業は行ないます。相当地に範囲にわたって危険な作業を行いますから登山は当然の関しないうち注意ください。

▼高津内東 九月十七日午後一時より
▼内川 九月十四日午後一時より
▼内川 九月十日午後一時より
▼内川 九月十一日午後一時より

お知らせ

▼馬場目 九月十五日午後一時より
▼内川 九月二十日午後一時より
▼馬場目 九月二十日午後一時より
▼内川 九月二十日午後一時より

広報ガロン

春田菜の悪天候は、富沢賢治の詩の「夏、夏、ア、ア、ア、ア」を思わせる典型的な冷害型にして、ふん心配した。お盆を境にして連日の炎暑で、日暮に出掛けるようになってきた。この分なら半年を越えることも夢ではない。

秋の夏は暑いといってもたしななはなはなは、三十八度を超える暑さつく甲子園で、秋の夏が準備まで駒を進めたのは天晴だ。三池に散らたは、いよいよ、いよいよ。「また来年もがんばって、」

「カブタ」で行なわれたニハニハア大会では単大の飯島選手が、砂一日の本大会で、アメリカのアンダーソンやカナダのジュニアの選手をおさす。金メダルを獲得し、見事東京オリンピックの雷撃してくれた。

今年の戦績から見ると、五中の野梨、剣道、陸上競技、五高のスキーは、来年度はおそらく二町長に喜ばせてくれる快二町長をもちました。一口に喜ばしにしている。海の深さを見落してはならぬ。(K)

